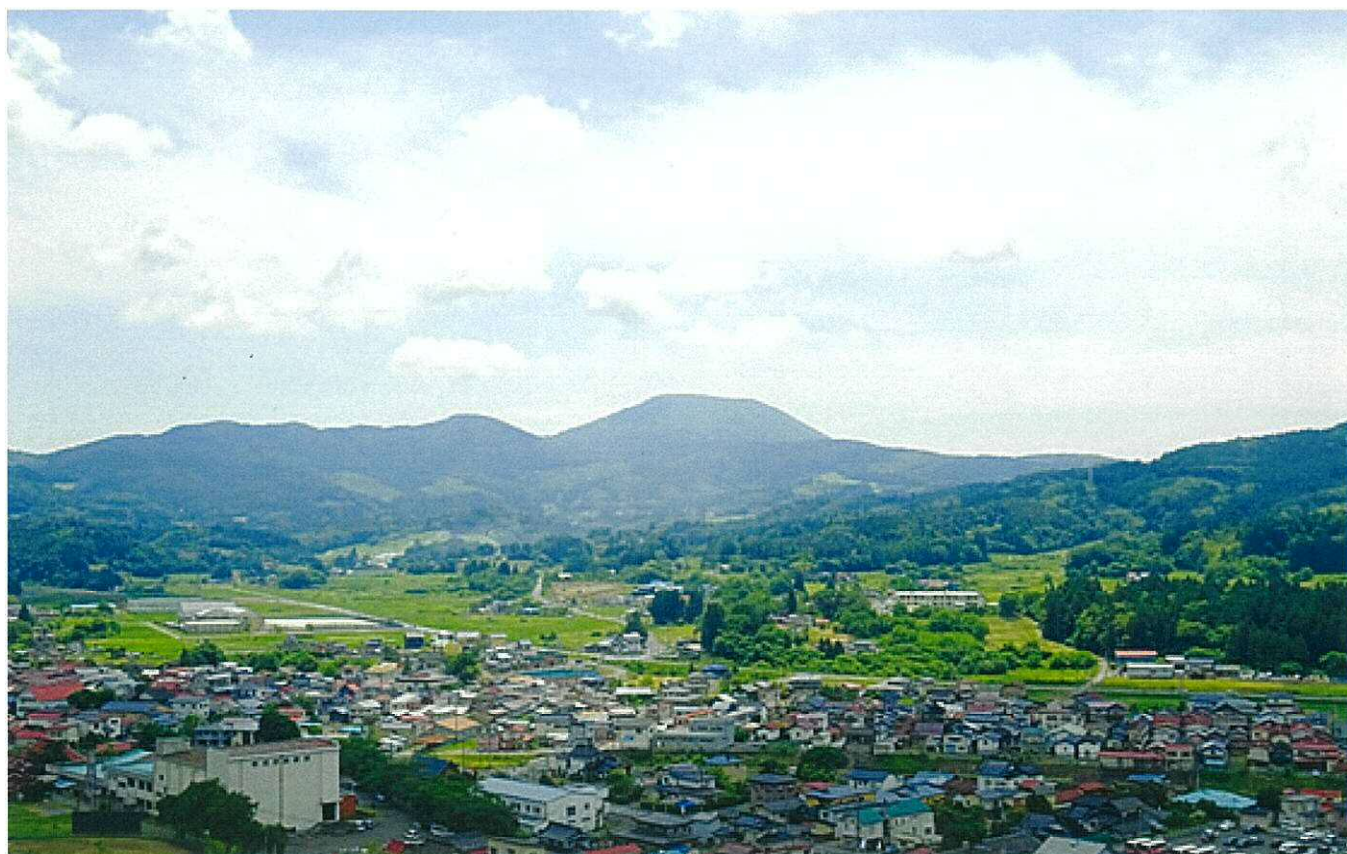


# つくろっよ 笑顔のおいしい 大原を

第2期地域づくり計画書

令和3年度～令和7年度



大原まちづくりの会



## 目 次

1 はじめに	1
(1) 計画策定の趣旨	1
(2) 計画の期間	1
2 地域の現状	1~2
3 地域の課題	3
(1) 高齢化の進展	3
(2) 少子化と若者の流出	3
(3) 人口減少による影響	3
(4) 新たな課題への対応	3
4 まちづくりの基本構想	4
(1) 大原地区の将来像	4
(2) まちづくりの目標	4
5 私たちの取組み	4~5
6 計画の推進	5

# 1 はじめに

## (1) 計画策定の趣旨

私たちが住んでいる大原は、水稲、野菜、シイタケ、リンゴ、畜産など農業を中心とした産業と、室根山や原台山そして砂鉄川など豊かな自然環境に育まれた地域で、水かけ祭りやだるま祭りなど祭事も盛んに行われ伝統と文化を継承し、昔から地域で助け合いながら暮らしてきました。

しかし、近年は少子高齢化・人口減少が進み、それぞれの生活に潤いやゆとりが少なくなり、地域としての活気が失われつつあります。

そこで、私たち自身が地域を見つめ直し、みんなで話し合いながら地域づくりをしていこうと、平成 26 年 11 月に地区内各種団体を構成員に「大原まちづくりの会」を設立しました。また平成 28 年度には「つくろうよ 笑顔のおいしい 大原を」をスローガンに掲げ向こう 5 年間の「地域づくり計画」を策定し、課題解決に向けた取り組みを行ってきたところです。

今回、第 1 期地域づくり計画の期間が終了するにあたり、構成団体でワークショップや役員会を開催し、これまでの成果や新たな課題等を洗い出し、令和 3 年度から向こう 5 年間の第 2 期地域づくり計画を策定しました。

今後は、この計画を新たな道しるべとし計画の具現化にむけて、さらなる話し合いを重ねながら、皆さんとともに積極的に活動していきたいと思えます。

## (2) 計画の期間

この計画は、おおむね令和 7 年度までの 5 年間の計画とします。また、状況の変化に応じ随時見直しを行うこととします。

# 2 地域の現状



大原地区年齢別人口(令和3年3月31日現在 住民基本台帳より ※外国人含む)

行政区	世帯数	人口	55歳以上 (人)	10年後の 高齢化率	65歳以上 (人)	高齢化率	14歳以下 (人)	少子率	若年世代 (20~44歳) (人)		
上内野	52	143	89	62.24%	70	48.95%	8	5.59%	26	18.18%	
中内野	40	105	63	60.00%	50	47.62%	6	5.71%	18	17.14%	
下内野	42	91	67	73.63%	50	54.95%	2	2.20%	9	9.89%	
上大原上	67	205	120	58.54%	94	45.85%	17	8.29%	36	17.56%	
上大原下	79	238	143	60.08%	101	42.44%	20	8.40%	40	16.81%	
山口	52	155	94	60.65%	66	42.58%	9	5.81%	32	20.65%	
藤ヶ崎	36	105	62	59.05%	48	45.71%	13	12.38%	19	18.10%	
払川	35	82	58	70.73%	45	54.88%	1	1.22%	11	13.41%	
大久保	69	183	105	57.38%	73	39.89%	14	7.65%	29	15.85%	
若宮上	87	239	132	55.23%	98	41.00%	30	12.55%	50	20.92%	
若宮下	36	89	50	56.18%	35	39.33%	12	13.48%	12	13.48%	
下大原	57	127	91	71.65%	67	52.76%	0	0.00%	16	12.60%	
笠置	102	246	121	49.19%	80	32.52%	35	14.23%	42	17.07%	
川内	73	155	108	69.68%	81	52.26%	10	6.45%	20	12.90%	
中島	96	215	138	64.19%	110	51.16%	13	6.05%	39	18.14%	
川原町	46	99	76	76.77%	46	46.46%	3	3.03%	14	14.14%	
一市	33	65	51	78.46%	41	63.08%	0	0.00%	9	13.85%	
六日町	95	230	131	56.96%	101	43.91%	21	9.13%	44	19.13%	
立町	60	142	95	66.90%	73	51.41%	16	11.27%	18	12.68%	
下町	71	155	90	58.06%	56	36.13%	9	5.81%	31	20.00%	
<b>合計</b>	<b>1,228</b>	<b>3,069</b>	<b>1,884</b>	<b>61.39%</b>	<b>1,385</b>	<b>45.13%</b>	<b>239</b>	<b>7.79%</b>	<b>515</b>	<b>16.78%</b>	
※ やまぶき荘		70									



### 3 地域の課題

#### (1) 高齢化の進展

高齢化の進展により、高齢者の一人暮らし世帯や高齢者夫婦世帯が増え、買い物・通院・草刈・雪かきなどの日常生活が困難になり、地域での見守りや支援が必要となっています。

また、話し相手がないことや気軽に集まれる場所が少ないなど交流の機会も少なくなっています。

#### (2) 少子化と若者の流出

少子化のため大原中学校が令和5年3月に閉校し、大東町内の中学校が一つになることが決まりました。

閉校により地域との関わりが少なくなるのではと心配されます。このことから、子どもたちが気軽に集まれる場所や参加できる行事を考えるとともに、親同士の情報共有の仕組みづくりがより必要になってくると考えられます。

若者については、働く場所がない・職場が遠いなど就労に係る課題もあり、さらに高校卒業後地元へ定着する若者も減少しています。

#### (3) 人口減少による影響

人口減少により、地域や近隣とのつながりが希薄になり行事やイベントを担う人材も不足しています。また、地域の基幹産業である農業を取り巻く現状は厳しく、地域産業の振興なども課題となっています。

さらに、安全・安心な地域や防犯防災への備えが求められています。

#### (4) 新たな課題への対応

SNS等を活用した地域の情報発信や新たな若者の就労・起業の促進が求められています。

また、世界中に猛威を振るっている新型コロナウイルスへの感染防止に取り組みながら、人と人とのつながりを大切にした地域づくりを進めていくという新たな課題への模索が必要です。



## 4 まちづくりの基本構想

### (1) 大原地区の将来像

大原を思い、大原に暮らす一人ひとりを思い、子どもたちを思い、将来像（スローガン）を第1期地域づくり計画に引き続き、次のとおりとします。

「つくろうよ 笑顔のおいしい 大原を」

### (2) まちづくりの目標

将来像を実現するために、まちづくりの目標を3本の柱として、分野ごとに事業を区分し計画した事業に取り組んでいきます。

- ◆目標 1. 賑わいのあるまちづくり
- ◆目標 2. 安心して安全な住みよいまちづくり
- ◆目標 3. 魅力を活かしたまちづくり



## 5 私たちの取組み

具体的な事業内容については、地域の課題等を考えながら各専門部や役員会で話し合い計画を立て取り組んでいく。

### 目標 1 賑わいのあるまちづくり

分類	取り組んでいく内容（重点項目）
(1) 地域活性化事業	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域コミュニティの活性化</li><li>・若者が出会い活躍できる場の環境づくり</li><li>・大原ブランドを見つける</li><li>・花火大会の検討</li><li>・ILC 誘致決定後のまちづくり</li></ul>
(2) 地域活動・地域間交流	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域活動の継続・浸透</li><li>・地域間交流の企画・推進</li></ul>
(3) 地域情報の共有・発信	<ul style="list-style-type: none"><li>・SNS の利用・活用</li><li>・若い世代のニーズの調査</li></ul>

## 目標2 安心して安全な住みよいまちづくり

分類	取り組んでいく内容（重点項目）
(1) 高齢者事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者の集いの場づくりの推進</li> <li>・ 高齢者ボランティア活動の推進</li> </ul>
(2) 子ども福祉事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健全育成事業の推進</li> <li>・ 子育て支援</li> <li>・ 親子イベントの検討</li> </ul>
(3) 健康促進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健康づくり活動の推進</li> </ul>
(4) 防犯防災事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防犯、防災活動の推進</li> </ul>



## 目標3 魅力を活かしたまちづくり

分類	取り組んでいく内容（重点項目）
(1) 地域資源の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域を知る機会づくりの推進</li> <li>・ 地域資源の掘り起こしと活用の推進</li> </ul>
(2) 歴史文化の伝承	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伝統行事や文化の継承</li> </ul>
(3) 大原の情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報発信の仕組みづくりの推進</li> <li>・ 大原のPR活動の推進</li> </ul>

## 6 計画の推進

この計画は、大原地区の将来像の実現に向けて分野別の目標を定め、自分たちの地域は自分たちで創り育てていくという理念に基づいた計画です。

具体的な事業展開にあたっては、行政や自治会、各種団体等とも緊密な連携をとり、適切な役割分担をしながら取り組んでいくものとします。

また、この計画は、大原地区住民で情報を共有し、共に汗をかき、住民一人ひとりの主体的な参加と協力をいただきながら推進するものとします。

計画に盛り込まれている項目や目標については、すぐ解決できるものもあれば、実現に多くの時間や財源を必要とするものもあります。皆さんの要望や提案などは年々変化してきますので、随時見直しを図ってまいります。

多くの人たちが「地域づくり計画」の実現に取り組むことにより、「人と人がつながる地域コミュニティ」が一層進むことを期待し推進します。





